

≪中山間地MaaS≫

地域の資源を総動員した誰にでも使いやすい交通運行実験

実験趣旨

高齢化率50%を超える地域におけるコミュニティ機能の確保維持のために、高齢者の移動手段の確保、デジタル社会に対応できる環境の創出を図りました。

実験内容

- ① 地域住民を運転手とし、地域在宥の福祉車両を活用した「地域住民参加型」のAIオンデマンド交通の運行。
- ② デジタルデバイド解消の為、デジタル機器に馴染みがなくても簡単に予約できるUIの構築。希望者に対する専用タブレットの無料貸し出し。
- ③ 外出のきっかけとなる生活支援サービス（スマートグラスを活用した遠隔買い物体験、健康体操等）との連携。

▶乗車の様子



▲遠隔お買い物体験 ▲簡単予約タブレット

①② AIオンデマンド	総乗車人数	118人
	総配車回数	96回
	ユニーク数	28人

③ 遠隔お買い物体験	総参加者数	41人
	開催回数	6回
	平均参加人数	6.8人/回

- ✓ 約2か月間で延べ118名に乗車いただきました。
- ✓ 主に遠隔お買い物体験の開催日の利用が多く、アンケート結果からは「交流の機会となった」との副次的な効果も見られました。
- ✓ 一方で、デジタル技術の活用には一定の抵抗感も見られる結果となりました。

≪静鉄沿線MaaS≫

静鉄沿線の活性化及び利用回復・混雑平準化に向けたOne to Oneクーポン配布実験

実験趣旨

静岡都心と駅周辺商店街への来訪促進によるまちなかの賑わいの創出、静鉄電車の利用回復・混雑平準化を図りました。

実験内容

- ① 昨年度に続き、HPやデジタルサイネージ（5駅設置）による混雑情報の提供。
- ② しずおかMaaS公式LINEアカウントからダイレクトアクセスを可能とする。
- ③ AIを用いて、クーポンによって行動変容する「说得可能層」に対してクーポンを2つのキャンペーンで実施。

エリア	静鉄電車沿線	
期間	令和3年12月1日～令和4年1月31日	
クーポン相当額	1等300円 2等150円 3等50円	はずれ
ページビュー数	全体	19,280回
	リアルタイム混雑	534回
	きょうの混雑予測	518回
登録者数	全体	704人
	LINE登録者 *未参加含む	422人
	ICタッチ登録者	282人
クーポン	配布数	4,794枚
	利用数	634枚
	使用率	13.2%

【静鉄使おうキャンペーン】沿線活性化・鉄道利用回復



【朝活キャンペーン】混雑平準化



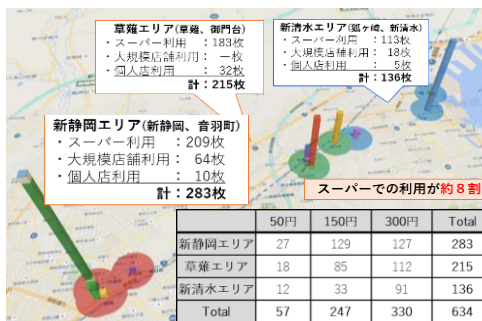
当日

告知を受けたキャンペーン対象者が、当日にオフピーク時間帯に鉄道利用した場合（朝7:40までに新静岡駅でビーコン受信した場合）にクーポンを配布



※複数駅でビーコン受信した場合に鉄道利用したものと判定

- ✓ クーポンを使用した人のみでは+11.5%、全体効果では+8.8%の乗車回数増加が見込めることが分かりました。
- ✓ 沿線店舗の活性化には一定の効果が見込まれるものの、スーパーへの偏りが見られました。
- ✓ 混雑情報へのアクセス性を向上させたものの、閲覧数は少ない結果となりました。



「まちなかMaaS」

新たな移動サービス「えらべるデマンド」実証実験

実験趣旨

- 都市部における**移動制約**が生じており、ボランティア輸送により、**高齢者が高齢者をサポート**をしている状態にあり、持続性に課題がある。
- 免許返納後の外出機会の維持、創出に向けた交通手段の確保を図る。

実験内容

- 料金の異なる複数の乗降パターンから、利用者が状況に応じて選択可能なAIオンデマンド交通を運行。

▼運行エリア（駿河区）

▼運行エリア（清水区）



エリア	・駿河区静岡駅南エリア ・清水区岡、船越エリア
期間	令和4年1月17日～3月11日 月～金曜日（祝日も運行）9時～16時
対象者	実験エリア内の高齢者 （モニター登録制、+2名までの同乗可能）
予約決済	・スマホアプリまたは電話による予約 ・現金による決済

【Express Pool型】 指定スポットまで徒歩移動が不要だが料金は安い

A 乗降スポット ⇄ 乗降スポット **300円**

【Door to Door型】 自宅等に直接送迎してくれる（徒歩移動不要）だが料金は高い

B 自宅・施設前 ⇄ 自宅・施設前 **400円**

C 運行エリア内 ⇄ 運行エリア外 **500円**

	駿河区	清水区	計
登録モニター数	75人	77人	152人
1回以上利用したモニター数	38人 (51%)	32人 (42%)	70人 (46%)
利用回数 (回)	166回 (95乗客110回)	135回 (95乗客60回)	301回 (95乗客168回)
利用形態	Door to Door 13回	92回	225回
	ExpressPool 10回	33回	43回
特定運行エリア外	23回	10回	33回

- 約2か月間のうち70人により301回の利用がありました。
- アンケート結果より、運転免許を保有していない人、一人暮らし・夫婦だけの世帯の人、バス停まで遠い距離に住んでいる人等の利用が多くみられました。
- サービスの継続ニーズは高く、継続的に利用できることで、外出回数は増えると回答する人が利用者の約6割程度みられました。

「まちなか観光MaaS」

観光庁 既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業採択事業

人気声優とコラボした観光コトづくり実証実験「君と巡るシズオカ」

実験趣旨

- 豊富な観光資源への来訪を促す動機付け情報の発信方法の検証
- 新たな観光周遊施策自体の評価、事業協力者との連携方策の検討

実験内容

- 人気声優による音声スタンプラリーによる周遊促進
- 人気声優によるSNS情報発信により、約113万回ビューを獲得

エリア	静鉄電車沿線、日本平エリア
期間	【第1期】令和4年1月17日～1月21日 【第2期】令和4年7月22日～8月31日 ※新型コロナウイルス感染症拡大により一時中断
参加費	無料
スポット	静鉄電車内、日本平夢テラス、久能山東照宮、日本平ホテル、新静岡セノバモデルルートを推奨



※実験結果は分析中です

しずおかMaaSについて

- しずおかMaaS（静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト）は、人口減少や高齢化社会が進行する中、ICT・AI等の最新技術を取り入れ、誰もが利用しやすい新たな移動サービスの提供と、これを活かした持続可能なまちづくりを目指して、2019年5月27日に発足した地域密着型の官民連携コンソーシアムです。
- しずおかMaaS将来ビジョンで掲げた『つながるまち、変わるあした』の実現に向け、ファースト・ラストワンマイル交通の提供等を検討し、暮らし続けられる魅力的なまちの形成を目指して取り組みを進めてきました。
- 令和4年度（2022年度）も引き続き実証実験を行いながら、これまでの取り組みを踏まえた今後のアクションを検討してまいります。



しずおかMaaS

構成団体

- 静岡鉄道株式会社（代表幹事）、静岡市（代表幹事代理）、商業組合静岡県タクシー協会、富士山清水港クルーズ株式会社、静岡市社会福祉協議会、静岡商工会議所、公益財団法人するが企画観光局、株式会社静岡銀行

オブザーバー

- 国土交通省中部運輸局静岡運輸支局、国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所



ホームページはこちら